



**編集・発行**

地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
大阪府立 呼吸器・アレルギー医療センター  
大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1  
TEL:072-957-2121  
FAX:072-958-3291  
HP:http://www.ra.opho.jp  
E-mail:kokyucen@ra.opho.jp

**呼吸ケアセンター ～cure (キュア) からcare (ケア) へ～**

**呼吸ケアセンター長 石原 英樹 (いしはら ひでき)**

慢性呼吸器疾患に罹患していて、息切れを感じている患者さんはおられますか？あるいは、「どうせよくなるから」とあきらめている患者さんはおられますか？これらの息切れを軽減するためには、禁煙・薬物療法・呼吸リハビリテーションなどの包括的（総合的）なアプローチが必要になります。当センターでは、これまでも包括呼吸ケアを理念として、慢性呼吸器疾患患者さんのケアにあたってきましたが、それをより明確に位置付けるために、「呼吸ケアセンター」を4月から開設いたしました。



病気というものは本来、cure（キュア・治癒）を目指すのが理想なのですが、残念ながら慢性呼吸器疾患の中には治癒が困難な病気も少なからずあります。それらの病気に対しては、治癒を目指すのではなく、よりよいcare（ケア）が重要になります。またこのような観点から、「息切れを克服する」のではなく、「息切れと上手につきあう」という姿勢が重要になります。そのためには、医師だけではなく、看護師、理学療法士など多職種による医療チームによるケアがポイントになります。さらに病院だけでなく、かかりつけ医や訪問看護ステーションなどとの地域医療連携も重要になってきます。

「息切れを感じずに」できるだけ快適な生活を送るためには、早期に発見し、適切な治療・ケアを受けることが重要です。慢性呼吸器疾患で息切れなどの症状でお困りの患者さんは、是非呼吸ケアセンターのスタッフに相談してみてください。

**食物アレルギーのオーダーメイド医療 小児科主任部長 土居 悟 (どい さとる)**

食物アレルギーは食物が原因で起こるアレルギーの病気です。症状としては、じんましんなどの皮膚の症状、気管支収縮などの呼吸器症状、下痢、嘔吐などの消化器症状があります。時には、複数の臓器に症状が現れることがあります（アナフィラキシー）。したがって、食事には個別の対応が必要となります。学校給食をどうするかも問題になります。治療は、原因となる食物を調べることから始まります。病院で診察の上、本当に原因になっている食物が分かった時、完全にその食物を除くか、医師の指導のもとに、アレルギーの症状が起こらない範囲で少しずつ



つ食べていくかはケースバイケースですが、できれば制限はより少なくしたいものです。

アレルギーの病気は、遺伝的要因に環境要因が複雑にからみあって起こります。アレルギーの原因となる食物であっても、少しずつ食べていって、アナフィラキシーを起こすリスクがないか予想できればと思います。現在、食物アレルギーの病態遺伝子の解明に関する研究が始められており、将来的にはリスクの診断、病態に基づいた予防法の確立、新しい治療法の開発に貢献できることが期待されます。現在はまだ基礎的な研究の段階ですが、将来、個々の体質に合ったオーダーメイド医療が実現できればと考えています。

## 7月・8月の教室案内

* カンガルー教室	● 7月 7日・14日・21日	● 8月 4日・11日・25日	午後1時半～
* 喘息教室	● 7月15日	● 8月はありません	午後2時～

### 放射線科 診療放射線技師 マンモグラフィ認定技師

#### 「MRI検査について」の巻

吉田 絵未 (よしだ えみ)

皆様こんにちは。梅雨の長雨も一段落し、ジリジリと夏の日差しを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしですか？7月は待ちに待った夏休みがやってきますね！子供たちには楽しみな夏休みですが毎日3食ご飯の用意をしないといけないご家族にとっては多少憂鬱かもしれないですね(笑)夏バテしないようにしっかりと食べて体力作りをしましょう。



さて今月号はMRI検査について簡単にご紹介したいと思います。MRIとは磁気共鳴撮像法の略で、簡単に言うと「磁石の力を使って体の輪切り像や縦切り像を撮影する検査」です。MRIは軟部組織の撮影が得意で、乳房のMRI検査も頻繁に行われています。ここでは乳房のMRIについて簡単に説明しますね。乳房造影MRIはマンモグラフィやエコーで悪性の疑いがある場合、また判別がつかない場合などに造影剤というお薬を注射しながら撮影を行い、乳腺の染まり方や病変部位の進展具合を診ます。進展具合が見やすいように撮影時は乳房を下垂させた状態(うつぶせ)で撮影していきます。撮影時間も50分近くかかり患者様にとってはかなり辛い検査となりますが今後の治療方針を決める大切な検査ですのでご協力頂ければ幸いです。

またMRI検査は磁力を使った検査ですので金属製品はどんなに小さいものでも一切持ち込めません。女性の方はお化粧品も要注意です。マスカラやアイライン、アイシャドウには金属成分が含まれているものが多数ありますので検査前に落として頂く場合がございます。マニキュアもラメ入りのものやラインストーンがついているものは落として頂きますので予めご了承ください。また入れ墨やタトゥー、アートメイク(永久眉、永久アイライン等)は火傷や変色を

おこす可能性があるので必ず問診でお答え頂くようお願いいたします。

MRIは注意事項の多い検査ですが、診断に非常に有用な画像を提供できる重要な検査です。  
もし検査を受けられることがあればご協力をよろしくお願いいたします！！

次回は「CT検査」についてお送りします、お楽しみに♪

## 「医療情報コーナー(さくら)」のご案内

場所：管理診療棟 2階（正面・外来受付の2階）

開閉時間：午前9時から午後3時半 / 月曜日から金曜日

主な特徴：パソコン、インターネット、書籍、雑誌、

パンフレット等による医療情報の提供

外来の待ち時間等に是非、ご利用



ください。